

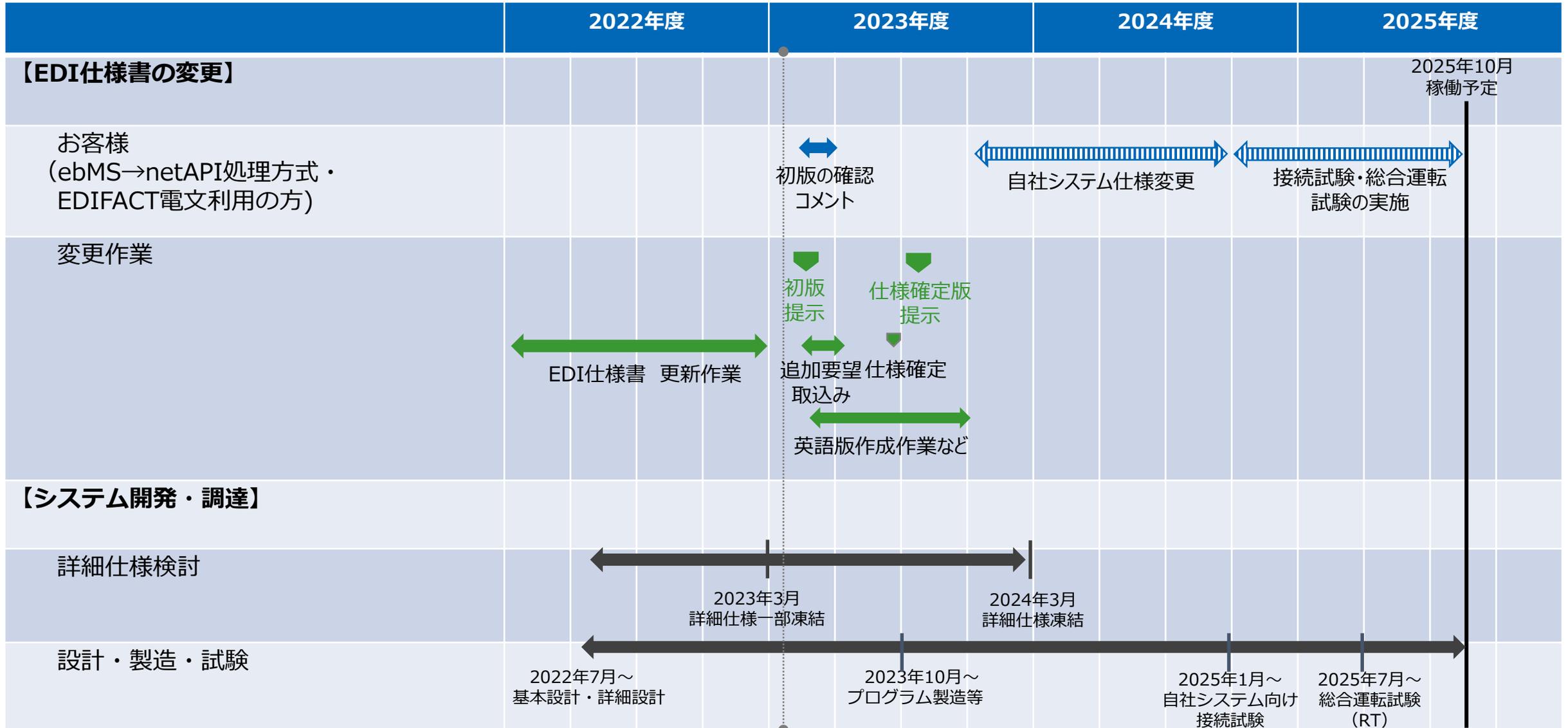
(3) 第7次NACCS EDI仕様書の変更点



2023年4月13日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

区分	概要
1. 検討項目	EDI仕様書の変更
2. 変更要望 (現行手続等における課題)	7次NACCSの改変に伴う変更の際し、用語やシステム構成例など内容の見直しとともに、各処理方式の内容の本編と付録集約といった章構成の見直しが必要である。
3. 次期仕様	以下の見直しを行う。 1. ebMS処理方式の廃止、netAPI処理方式の接続仕様公開 2. EDIFACTのバージョンアップ対応 3. 各章内容の変更(図、表を含む) 4. 章構成の見直し



ebMS処理方式を廃止し、netAPI処理方式の接続仕様公開を行う。
第6次NACCSにおけるebMS処理方式の章に代わりnetAPI処理方式の章を設け、以下項目にて仕様公開を行う。

第6次NACCS

4.5 ebMS処理方式

4.5.1 処理方式概要

4.5.2 通信プロトコルの詳細

4.5.3 ebMS 処理方式で使用するメッセージ

4.5.4 ebMS 処理方式における設定情報

4.5.5 電文方式と構造

4.5.6 業務処理シーケンス



第7次NACCS

4.5 インタラクティブ処理方式 (netAPI)

4.5.1 処理方式概要

4.5.2 利用者で守るべきインターフェース

4.5.3 通信プロトコルの詳細

4.5.4 電文構造

4.5.5 業務処理シーケンス

4.5.6 その他

第7次NACCSでは、現行バージョンに対応した機器のサポート期間終了および自社システム(EDIFACT)利用者への影響を考慮し、2021年前期バージョン(D.21A)を採用する。

バージョンアップに伴い、EDI仕様書および業務仕様書のセグメント表、マッピング表の変更を行う。

EDIFACTに関するEDI仕様書の主な変更内容

本編

- ① シンタックスルール(構文規則)に関する更新
- ② バージョンアップに伴うセグメント表、マッピング表の構成に関する記載の修正
- ③ 概要、マッピング表等の見方など付録情報の本編への集約

付録

- ① 「付録14-4-1※ EDIFACT対応業務サブセット一覧」の更新

※付録の本文への集約に伴う付録番号の変更により「付録12-3-1」となる見込み

- ・ 利用実績の低いサブセットの廃止
- ・ 第7次NACCS新規業務、変更業務の出力情報追加に伴う新規サブセットの追加

- ② 付録各ファイルの本編への集約

前頁本編の変更①シンタックスルール(構文規則)に関する更新に関し、特筆すべき内容は以下の通り。

1. 「*(アスタリスク)」の分離符号化 (EDI仕様書3章)

シンタックスルール バージョン4.0においては「*(アスタリスク)」を繰り返し分離符号として扱うことに伴い、入出力項目中の「*(アスタリスク)」と区別するため、入出力項目中の「*(アスタリスク)」には直前に解除文字の「?」をセットする必要がある。

▶ マッピングの例

・処理結果通知の場合

第6次NACCS : BGM+963:::*CCMSG++9'

第7次NACCS : BGM+963:::*CCMSG++9'

処理結果コードの先頭「*」についても解除文字「?」を付して出力する

・品名欄の場合

第6次NACCS : FTX+AAA+++***WAY BILL***'

第7次NACCS : FTX+AAA+++*?*?*?WAY BILL*?*?*?'

入出力内容に「*」が含まれる場合、入力情報は解除文字「?」を付してNACCSへ送信し、出力情報はNACCSから「?」を付して送信する

2. DEPENDENCY NOTES(依存関係の注記)のEDI仕様書への追記 (EDI仕様書3章)

依存関係に関するルールの追加となるが第7次NACCSでは使用しない。将来的な利用も見据えEDI仕様書への説明のみ追加する。

3. 各章内容の変更(図、表を含む)

第7次NACCS各案件の変更に伴う見直しの他、図や表の集約、図中のアイコンの変更等を実施する。
変更の基本方針は以下の通り。

① 文言の変更

冗長で分かりにくい用語を見直し、各章ごとの表記を極力統一する。

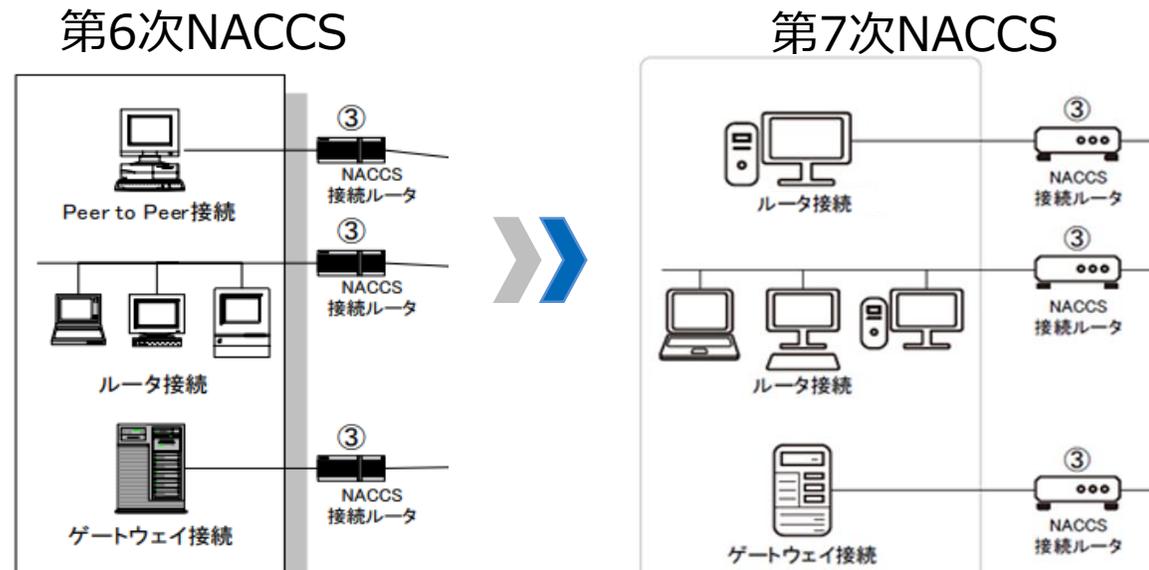
例：「パソコン用パッケージソフト」→「NACCSパッケージソフト」

「Peer to Peer接続」→「ルータ接続」へ統合

② 図・表等の変更

重複する内容の構成図の集約を図り、図中のアイコンを刷新する。

変更イメージ：



4. 章構成の見直し

章構成の見直しについては、「別紙1 EDI仕様書の構成変更一覧」を参照。
見直しにおける基本方針は以下の通り。

- ①本編に関連する付録が存在する場合、極力付録を本編に集約する。
付録3→2章、付録14、15→3章、付録17→2章
例：「付録3 システム構築の具体例」を本編2章 ネットワーク構成に集約
- ②付録の統廃合により、番号の繰り上げを実施するが、付録6対象業務一覧、出力情報コード一覧は利用頻度が高いため、付録番号の変更(繰り上げ)は実施しない。
- ③各処理方式毎にまとめられた4章に、各処理方式ごとの注意が必要な記載等を集約する。
例：「7.5 セキュリティ対策 netNACCS処理方式、WebNACCS処理方式、ebMS処理方式」を4章の各処理方式に集約し7章5節は廃止とする。
- ④付録6
 - ・WebNACCS対象業務一覧の追加
 - ・付表6-7 対象業務一覧に「R：携帯端末から実施できる業務(レスポンス対応)」の列を追加する